

昭和女子大学 2021 年度入試（2020 年度実施）について（2019 年 9 月 25 日）

昭和女子大学の 2021 年度入試については、以下の内容を予定・検討しています。  
 予定の変更、検討結果の公表についてはこのホームページでお知らせします。

**実施する入試**

2021 年度入試		2020 年度入試
総合型選抜	大学 AO	大学 AO
学校推薦型選抜 ※1	公募制推薦 光葉同窓会推薦	公募制推薦 光葉同窓会推薦
一般選抜 (本学独自)	A 日程 B 日程 3 月期	A 日程 B 日程 3 月期
一般選抜 (大学入学共通 テスト利用)	(仮称) 共通テスト利用型 I 期 (一般 方式・英語 4 技能試験活用方式) (仮称) 共通テスト利用型 II 期 (一般 方式・英語 4 技能試験活用方式)	センター型 I 期 (一般方式・ 英語 4 技能検定活用方式) センター型 II 期 (一般方式・ 英語 4 技能検定活用方式)

外国人留学生、編入・転入・学士入学生の入試についても 2020 年度入試と同様に実施。

※1 指定校制推薦、附属校推薦についても 2020 年度入試と同様に実施。

**選抜方法（募集学科、入試内容、英語 4 技能試験、大学入試英語成績提供システム等）**

■ 大学 AO、公募制推薦、光葉同窓会推薦

書類（自己報告書、調査書、推薦書、課題等）、筆記（小論文、適性テスト）、面接（試問、学科によりプレゼンテーション）により「学力の 3 要素」を総合的に評価します。

[2020 年度入試](#)からの選抜方法、募集学科の変更の予定はありません。

2021 年度の出願基準、筆記試験、面接試験の内容は、2020 年 5 月連休明け以降にホームページ、大学案内、入試要項（6 月下旬）で確認してください。

○ 英語 4 技能試験の活用

2020 年度入試と同様に CEFR B1 以上取得の受験生は書類点の中で評価します。

対象とする資格・検定試験は、大学入試英語成績提供システムで扱う資格・検定試験としますが、大学入試英語成績システムのみを利用した場合は、総合型選抜（AO）は A 区分（4-7 月の受験）、学校推薦型選抜（推薦）は B 区分（4-9 月の受験）に限定されるため、新制度の経過措置として以下を検討しています。検討した結果は 2019 年 12 月中に公表します。

- ① 証明書提出と大学入試英語成績提供システムの併用とするか
- ② 有効期限を前年度または入試実施日から過去 2 年以内とするか
- ③ 英検（従来型）を対象とするか

#### ○大学入試英語成績提供システムの利用

CEFR B1 以上取得の場合、書類点の中で評価するために利用します。

システムで提供される全ての資格・検定試験を利用します。

CEFR の段階別評価やスコアの良い方の成績を利用します。

成績の対象は 2020 年 4 月以降受験となります。※例外措置対象者を除く

総合型選抜（大学 AO）は A 区分（4-7 月の受験）の成績

学校推薦型選抜（公募制推薦、光葉同窓会推薦）は B 区分（4-9 月の受験）の成績

#### ■一般選抜（A 日程、B 日程、3 月期、（仮称）共通テスト利用型 I 期・II 期）

学力を重視します。筆記（科目試験）、英語リスニング（国際学部）により「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を測り、得点により判定します。A 日程については、合格ボーダーラインの受験生について「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価し判定します。

A 日程を除き、[2020 年度入試](#)からの選抜方法、募集学科の変更の予定はありません。

試験科目についても受験生の高等学校等での履修に影響する変更は行いません。

2021 年度の筆記試験の内容は、2020 年 5 月中旬以降にホームページ、大学案内、入試要項（7 月下旬）で確認してください。

#### ○大学入学共通テストの利用

大学入学共通テストから記述試験が採用される「国語」、「数学 I」、「数学 I・数学 A」も含め、成績を（仮称）共通テスト利用型 I 期・II 期で利用します。

国語の記述式の段階別成績については、その結果を昭和女子大学で得点化しマークシート式問題の得点に加算します。数学の記述式については、マークシート式問題と一体で出題・配点されるため、記述式の得点はそのまま利用します。

英語は、外国語（リーディング）、英語（リスニング）の得点のみを利用します。

現在、国語の段階別成績の配点、外国語（リーディング）と英語（リスニング）の配点を検討しています。検討した結果は 2019 年 12 月中に公表します。

#### ○英語 4 技能試験の活用

A 日程、B 日程、3 月期、（仮称）共通テスト利用型 I 期（一般方式）・II 期（一般方式）は、英語 4 技能試験の成績を活用しません。

（仮称）共通テスト利用型 I 期（英語 4 技能試験活用方式）・II 期（英語 4 技能試験活用方式）は、2020 年度入試と同様に CEFR B1 以上取得を出願基準にします。

対象とする資格・検定試験は、大学入試英語成績提供システムで扱う資格・検定試験としますが、大学入試英語成績システムのみを利用した場合は、I 期（1 月出願の基準確認）が B 区分（4-9 月の受験）に限定されるため、新制度の経過措置として以下を検討しています。検討した結果は 2019 年 12 月中に公表します。

① 証明書提出と大学入試英語成績提供システムの併用とするか

② 有効期限を前年度または入試実施日から過去 2 年以内とするか

③ 英検（従来型）を対象とするか

○大学入試英語成績提供システムの利用

（仮称）共通テスト利用型Ⅰ期（英語４技能試験活用方式）・Ⅱ期（英語４技能試験活用方式）で出願基準（CEFR B1 以上取得）の確認のために利用します。

システムで提供される全ての資格・検定試験を利用します。

CEFR の段階別評価やスコアの良い方の成績を利用します。

成績の対象は 2020 年 4 月以降受験となります。※例外措置対象者を除く

（仮称）共通テスト利用型Ⅰ期（英語４技能試験活用方式）

は B 区分（4-9 月の受験）の成績

（仮称）共通テスト利用型Ⅱ期（英語４技能試験活用方式）

は C 区分（4-12 月の受験）の成績

**一般選抜における「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」の評価について**

一般選抜は学力を重視しますが、以下の入学試験では本学が求める「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

対象入試：A 日程

判定方法：

1. 受験生を筆記試験の得点順に並べ、合格予定者数の上位 95% までの順位にはいった受験生を成績上位層、上位 95%～105% の順位にはいった受験生をボーダーライン層とします。
2. 成績上位層の受験生は合格とします。
3. ボーダーライン層の受験生については、出願時の資料に基づき、昭和女子大学で必要とする主体性得点を算出します。この得点に基づいて新たに順位を求め、合格予定者数に達するまで合格とします。
4. 3 の合否判定で合格予定者数に達しなかった場合は、筆記試験の得点に立ち戻り、得点順に合格予定者数に達するまで合格を出します。
5. 上記の手続きで合格にならなかったボーダーライン層の受験生ならびに上位 105% に達しない順位の受験生は不合格とします。

現在、評価する項目を検討しています。検討した結果は 2019 年 12 月中に公表します。

**JAPAN e-Portfolio の利用**

2020 年度入試では、大学 AO 入試、公募制・光葉同窓会推薦入試で利用も可としていますが、2021 年度入試の利用については決定していません。2020 年度入試の状況を踏まえ検討します。検討した結果は 2019 年 12 月中に公表します。

以上